



# 本格利用する前に知っておきたい！ Power Platform のライセンス概要

2023/01日本マイクロソフト株式会社

# このWebinarの目的

Power Platform を本格利用する前に、ライセンス体系、それぞれのライセンスでできることを理解し、適切なライセンスを選択していただく



# Agenda

- 無償・有償 Power Platform とは？
- 無償・有償 Power Platform でできること
- 無償・有償 Power Platform の選び方

無償・有償 Power Platform とは？

# Power Platform

- 無償版 Power Apps
- 有償版 Power Apps
- 無償版 Power Automate
- 有償版 Power Automate

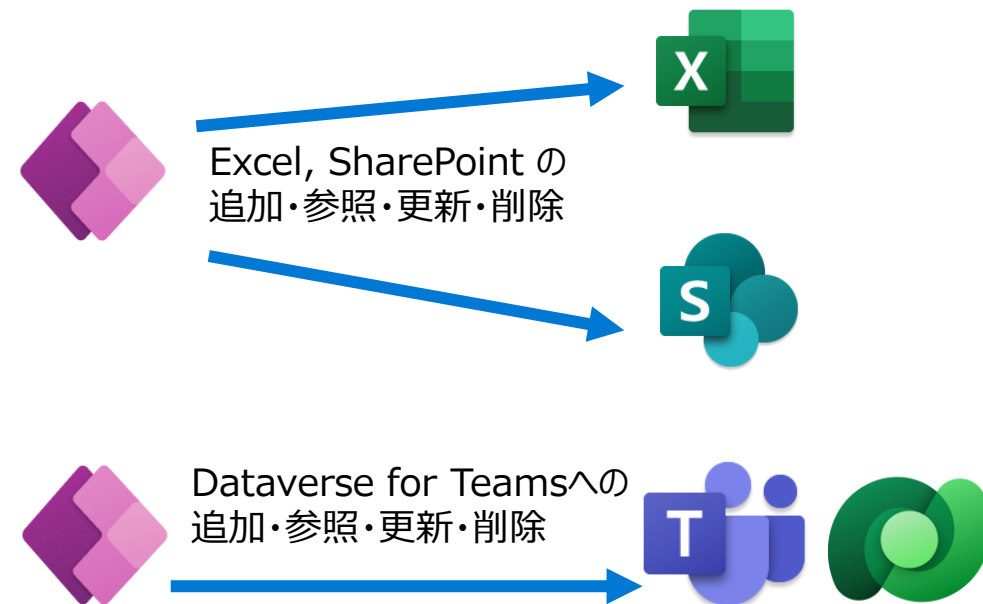


# 無償版 Power Apps とは？

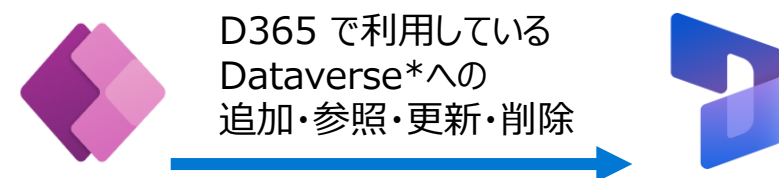
## 無償版

- Office 365(O365), Microsoft 365(M365), Dynamics 365(D365) ライセンスに含まれる **Power Apps 使用权**を指す(Seeded と呼ぶ)
- O365, M365, D365 の拡張・カスタマイズシナリオで Power Apps を利用可  
e.g. O365 ライセンスであれば、SharePoint や Excel を更新する Power Apps; D365 ライセンスであれば、D365 データを更新する Power Apps を作成し、利用することが可能

## O365, M365 seeded の Power Apps



## D365 seeded の Power Apps



\*Power Apps は D365 アプリと同じ環境内でなければならない

# 有償版 Power Apps とは？

## 有償版

- **Power Apps ライセンスのことを指す**(Standalone ライセンスとも呼ぶ)
- ライセンスは Per App プラン、Per User プランの 2 種類
- Dataverse や外部データソースをベースにした Power Apps を作成することができる
- Power Pages も利用できる

### Power Apps per app プラン



アプリ単位のライセンス

¥540-/1アプリ/月

特定のビジネス シナリオのために個々のユーザーが**1つまでのアプリ**を実行し、Power Apps のフル機能を利用可能

### Power Apps per user プラン



ユーザー単位のライセンス

¥2,170-/月

ユーザーが**無制限の数のアプリ**を実行し、Power Apps のフル機能を利用可能



# Power Pagesの料金体系について

	認証ユーザー (1サイト/月)			匿名ユーザー (1サイト/月) ※同一ユーザーは1ユーザーとしてカウント		
	Tier 1 (100 user~)	Tier 2 (10,000 user~)	Tier 3 (100,000 user ~)	Tier 1 (500 user~)	Tier 2 (10,000 user~)	Tier 3 (100,000 user~)
前払い	¥21,743 (100user)	¥8,154 (100user)	¥5,436 (100user)	¥8,154 (500user)	¥4,077 (500user)	¥2,718 (500user)
従量課金	¥435 (1user)			¥33 (1user)		

それぞれのプランにDataverse の容量が付帯します。  
詳細についてはPower Pages のサイトをご確認ください。  
[Power Pages の価格 | Microsoft Power Pages](#)



# 無償版 Power Automate とは？

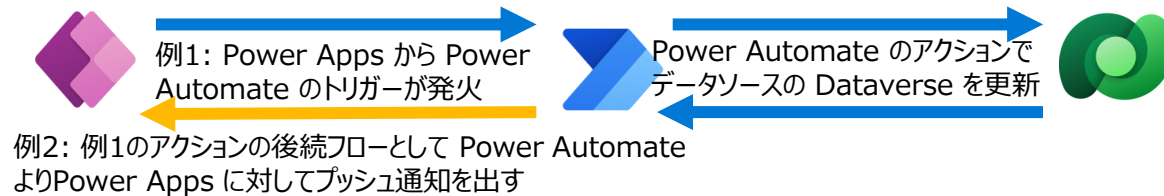
## 無償版

Power Apps(有償), O365, D365, ライセンスに含まれる Power Automate 使用権

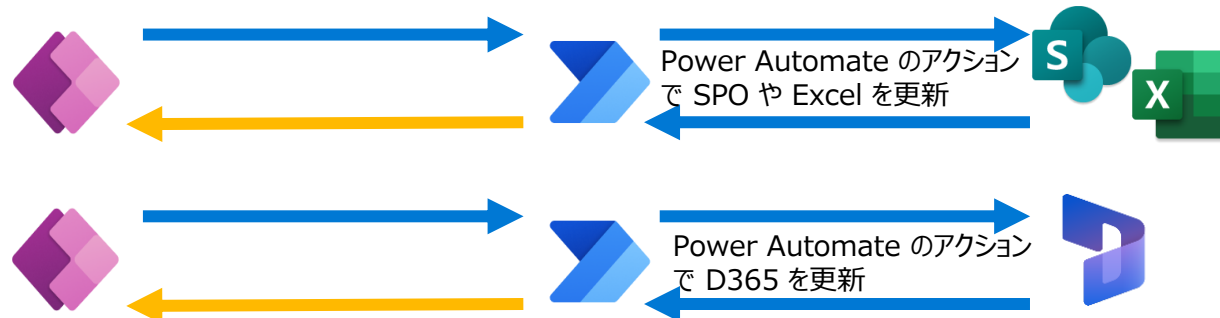
### Power Apps, O365, D365 Seeded の Power Automate

Power Apps seeded: Power Apps アプリ **内**での利用に限定される

- Power Apps に組み込まれたトリガー、アクション、フローは以下にのみ接続可能
  - Power Apps で利用可能なデータソース: **例1**
  - Power Apps (トリガー/アクション経由): **例2**
- Power Apps に関連のないフローは有償ライセンスが必要

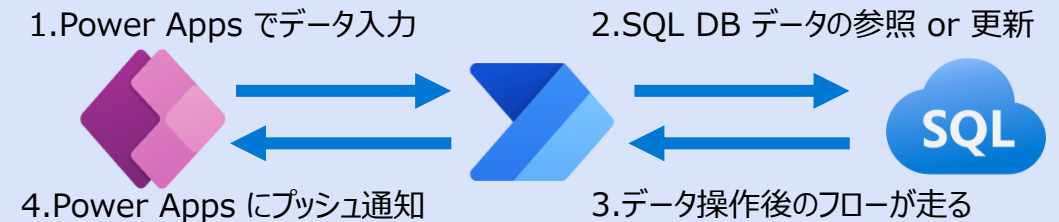


O365, D365 seededについては、上記[Power Apps]をD365, O365に置き換える



### Power Apps **内**の Power Automate 利用具体例

Power Apps ライセンスを持つユーザーが SQL DB をデータソースとして使ったアプリを実行し、以下のフローを含む場合

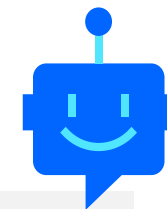


### Power Apps **外**の Power Automate 利用具体例

上記例と同じユーザーがフローを使って Oracle DB 更新したい場合で、

- Power Apps とは一切関連性がない
- 有償 Power Automate ライセンスが必要

# 無償版 Power Automate for desktopとは？



**無償版**

- Windows 10 / 11 ライセンスに含まれる  
**Power Automate for desktop**  
(RPA) 使用权




UI の自動化

デスクトップまたはブラウザ上で実行  
する画面操作などのアクションを、  
Power Automate for desktop  
で自動化

ロボティック・プロセス・オートメーション  
(RPA)



**有人型**

	無人型 完全自動化 	有人型 人がトリガー 
概要	ボリュームが大きく、時間がかかるタスクを、指 1 本動かさずに自動化	デスクトップやウェブ上で手動で行っているタスクの効率化と自動化
シナリオ	会社の大規模プロセスの自動化	オンデマンドのタスクの自動化
対象者	RPA専任の Center of Excellence および自動化のスペシャリスト	ビジネスユニットにおける市民開発者
必須条件	特定のマシンにおけるジョブ/ロボットが業務をこなすこと	ユーザーが各自の端末にサインインしていること/ 人がトリガーとなること

有償

# 有償版 Power Automate とは？

## 有償版

- **Power Automate ライセンスのことを指す**(Standalone ライセンスとも呼ぶ)
- ライセンスは Per Flow、Per User、Per User + 有人型RPA プランの 3 種類 + アドオンライセンス

### Per Flow プラン



**フロー**単位のライセンス  
¥10,870- /フロー/月  
最小購入数 5 フロー

定められたキャパシティでフローを実装し、組織全体で無制限の数のユーザーが利用できる

### Per user プラン



**ユーザー**単位のライセンス  
¥1,630- /ユーザー/月

個々のユーザーが各自のニーズに基づいて、**無制限の数**のフローを作成できる

### Per user + 有人型RPAプラン



**ユーザー**単位のライセンス  
¥4,320- /ユーザー/月

個々のユーザーが無制限の数のフローを作成できる + RPA と AI によってレガシーアプリケーションを自動化できる

Per userプラン  
+ Power Automate for desktop

### 無人型 RPA アドオン



**ボット**単位のライセンス  
¥16,310- /ボット/月

ボットの自律的な実行を可能にする(=ユーザーから独立する)ことで、デスクトップベースの自動化を拡張

# 従量課金プラン Power Platform とは？

## 従量課金プラン

- Power Apps / Automate の従量課金プランのことを指す
- 使用した分だけ支払う料金体系
- できることは有償版と同じ

### Power Apps

アクティブユーザー：1アプリ 1人当たり ¥1,120-  
Dataverse File：1 GB 当たり \$ 2.40  
Dataverse Log：1 GB 当たり \$ 12  
Dataverse Database：1 GB 当たり \$ 48

Per user ライセンスを持つユーザーには課金されない  
Per app ライセンスとは共存できない

### Power Automate (Preview)

クラウドフロー/有人 RPA フロー：1実行当たり ¥65-  
無人RPA フロー：1実行当たり ¥326-

スタンドアロンの有償ライセンスを持っているユーザー、Per Flowプランを適用しているフローの実行に関しては課金されない

利用人数に季節性がある場合やトライアルでの利用の選択肢に

# 価格改定について

2023年4月からすべてのライセンス価格が15%引き上げされます。

## 2023 年 4 月からの 価格改定に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、マイクロソフトでは日本円の為替変動に伴い、2023 年 4 月から、コマーシャルライセンス プログラムを対象にした全てのオンプレミス製品を一律 20%、オンラインサービスを 15 % 引き上げを行うこととなりました。新価格は、2023 年 4 月度の価格表から適用され、このタイミング以降の契約更新や新規契約のお客様に適用されます。

マイクロソフトは、ソフトウェア製品およびオンラインサービスの現地価格の影響を定期的に評価し、地域間の合理的な整合性を確保しており、今回の変更はその評価の結果により、米ドル水準に近い実勢価格に調整した結果となります。なお、ハードウェア（Surface 等）またはコンシューマ向けに提供している Windows, Office 及び Microsoft 365 サービス等は対象としておりません。

今回の価格変更に関する情報は貴社顧客および取引先に本情報を開示することができます。弊社からの公式なアナウンスメントにつきましては、こちらをご参照ください。今後とも、販売へのご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

無償・有償 Power Platform でできること

# Power Apps





# 無償&有償 Power Apps 共通: キャンバスアプリ

## フィールドワークを支えるキャンバスアプリ



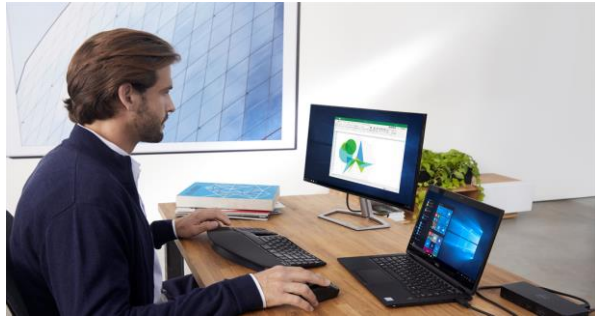
- タブレット、スマートフォン、Webなど、クロスプラットフォームでの利用
- キャンバスに絵を描くように、PowerPointライクに画面をデザインし、Excelの関数ライクに処理を記述
- ユーザーのインプットが容易な豊富なコントロール
- Power Automate連携による、容易なデータ活用
- 開發生産性が高く、アプリケーションのリリースサイクルを大幅に削減



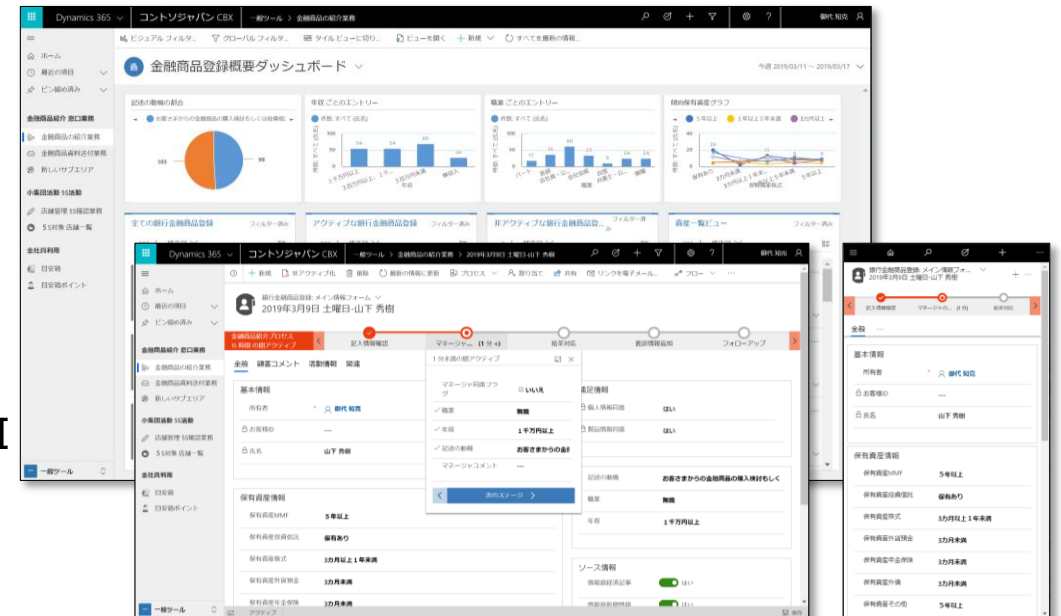
# 有償 Power Apps : モデル駆動型アプリ

(※D365付帯Power Appsでも使用可能)

## オフィスワークを支えるモデル駆動型アプリ



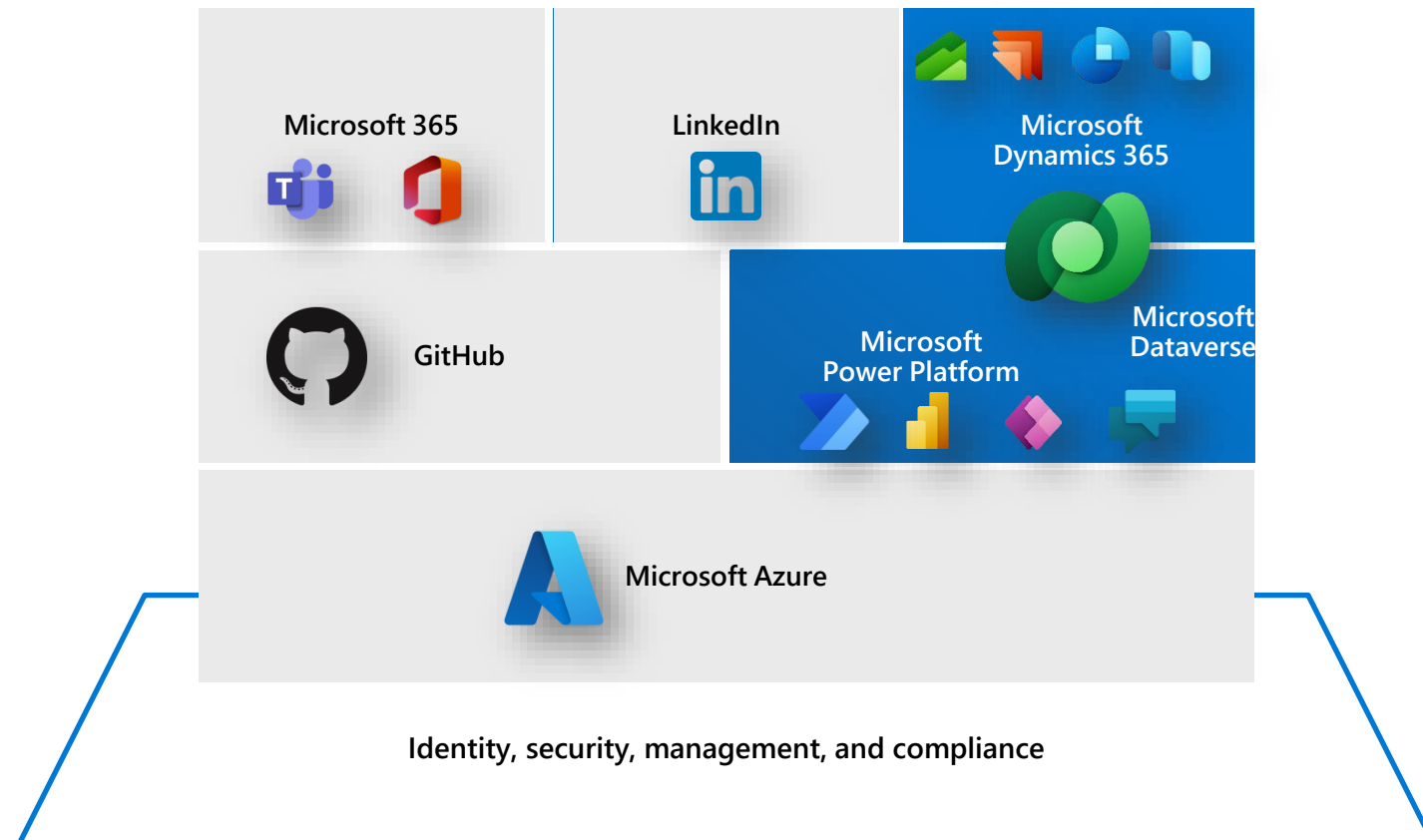
- Webベースのアプリケーション  
レスポンスUIで、スマートフォン、タブレットで利用可能
- ビジネス プロセスを定義し、「正しい処理」と「現在の状況」を明確化
- Word、Excelと連携し、複数のデータを一括変更などを標準機能として搭載
- 1画面に複数の関連する情報をダッシュボードに集約可能
- 既にDynamics 365 Customer Engagementとして、利用されているUCI (Unified Client Interface) 機能



# 有償 Power Apps : Microsoft Dataverse

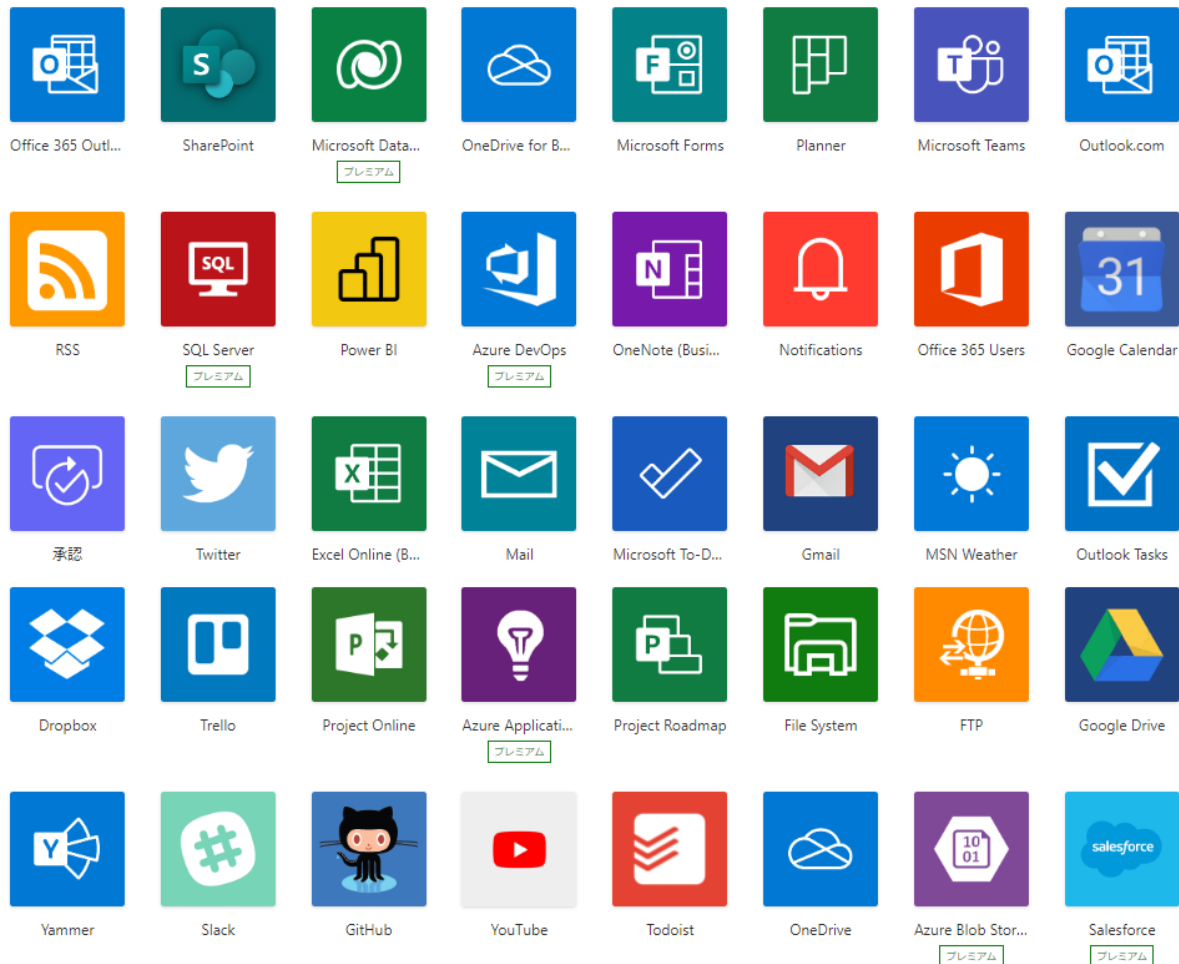
(※D365付帯Power Appsでも使用可能)

- Power Platform・Dynamics 365 で提供される市民開発者からプロ開発者まで利用できるローコードなデータ基盤
- エンタープライズ利用にも耐えうる、高度なセキュリティー機能とインフラをSaaS のプラットフォームとして提供
- 利用範囲はPower Platformに閉じず、Web API や SDK 等の拡張機能も提供



# 無償/有償 Power Apps : 使用可能なコネクタ

Power Platformでは、データソースやサービスへの接続にコネクタを使用



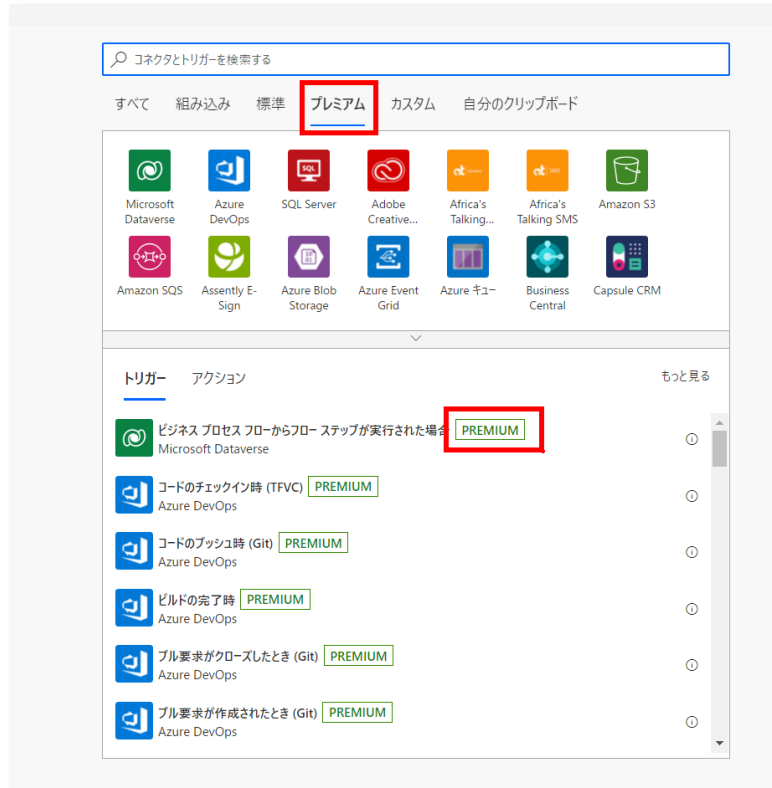
- コネクタには、標準コネクタ、プレミアムコネクタ、カスタムコネクタがある
- **無償**で使用できるのは標準コネクタのみ
- **有償**ではプレミアムコネクタ、カスタムコネクタも使用可能

※ライセンスの種類により、  
1日あたりに可能なAPIコール数の上限が異なります

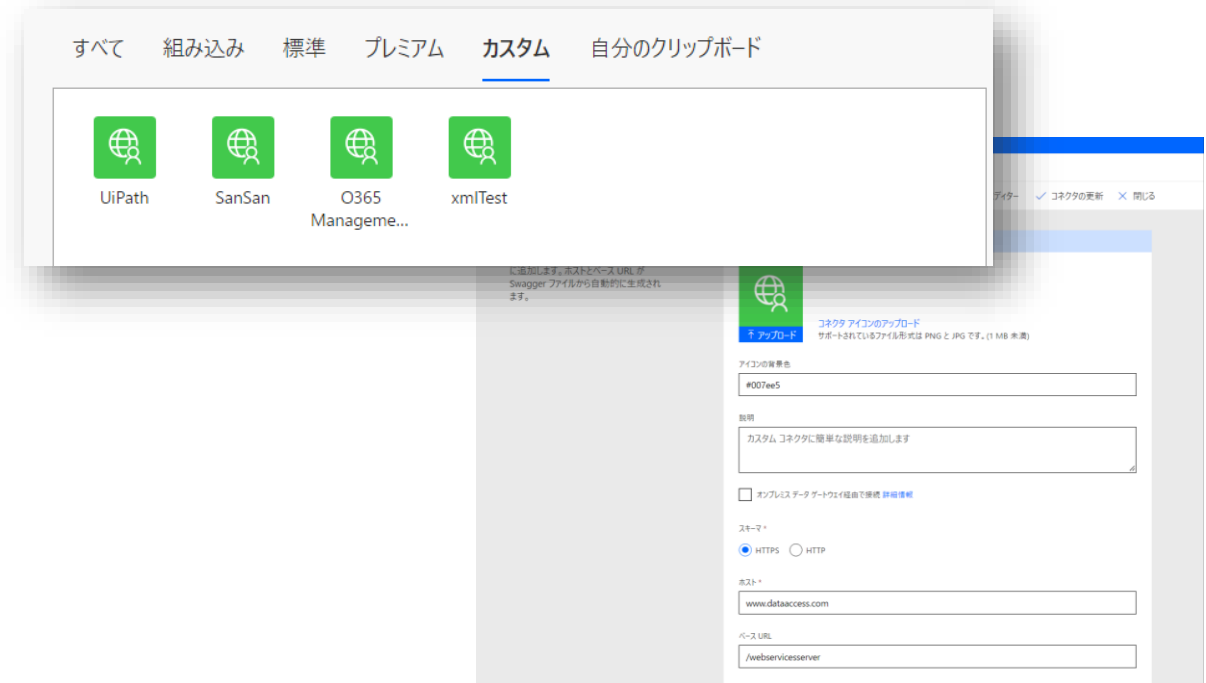
# 有償 Power Apps : プレミアムコネクタ / カスタムコネクタ

## プレミアムコネクタ

## カスタムコネクタ



DataverseやSQL Server、Oracle DB、SAP、Azure、HTTPコネクタといった本格的な業務システム連携が可能

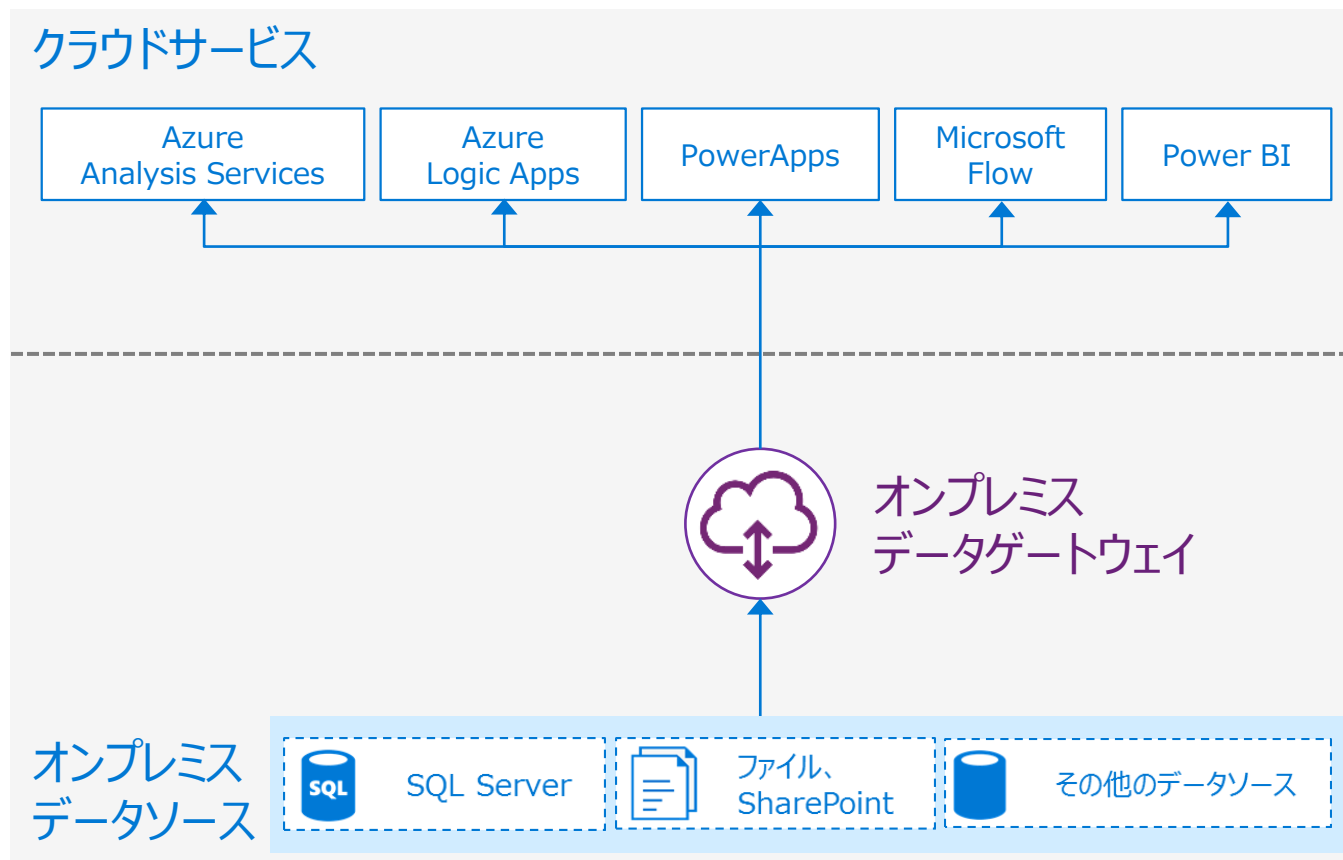


Power Platformがコネクタとして標準では提供していない、3rd Partyサービスや、API、自社システム等との接続を可能にするカスタムコネクタを作成可能

# 有償 Power Apps : オンプレミスデータゲートウェイ

オンプレミスデータゲートウェイを利用すると、オンプレミスで管理されているデータに Power Apps からアクセスできるようになります。

ゲートウェイはインストーラから簡単にインストールでき、Outbound 通信のみで動作します。



- Power BI、Power Automate 、Power Apps からオンプレミス上のデータを扱えるようになる。
- 1つのゲートウェイだけで複数のサービスから同時に利用が可能
- ゲートウェイはデータソースとなるインスタンスと別のインスタンス上にデプロイした構成も可能
- 全てのデータは圧縮され、暗号化された経路でやりとりされる。
- ゲートウェイからのトラフィックはアウトバウンドのみの通信で動作する。

# 有償 Power Apps : Power Pages

組織内・外のユーザー向けの、  
レスポンスなWebサイト



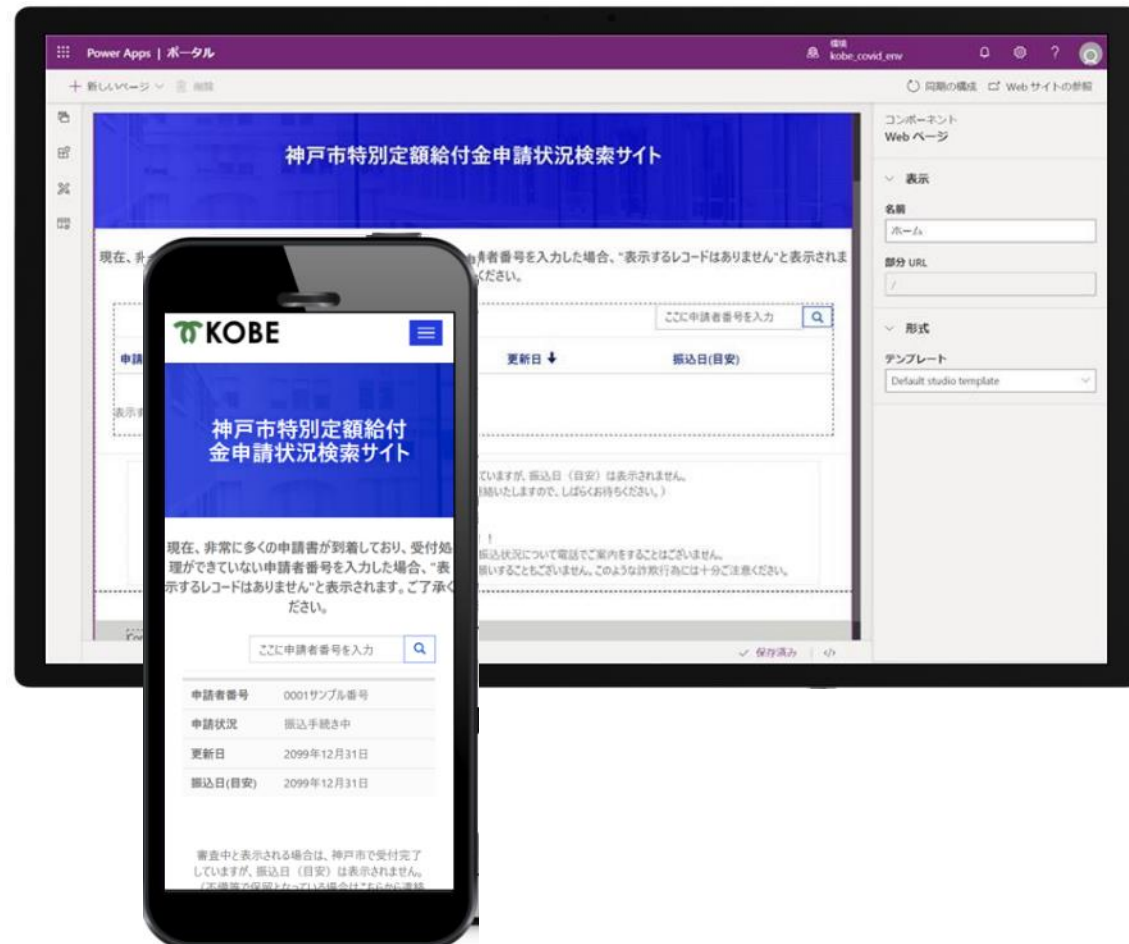
組織内・外、顧客やパートナー向けに、  
多言語のレスポンスなWebサイトの提供



Microsoft アカウント、LinkedIn、Azure AD B2C などの  
商用またはエンタープライズ  
ログイン プロバイダーや、匿名アクセスが可能



フォーム、ビュー、グラフ、ダッシュボードなど、使い慣れた構  
成要素を使用して CDSデータを  
有効利用

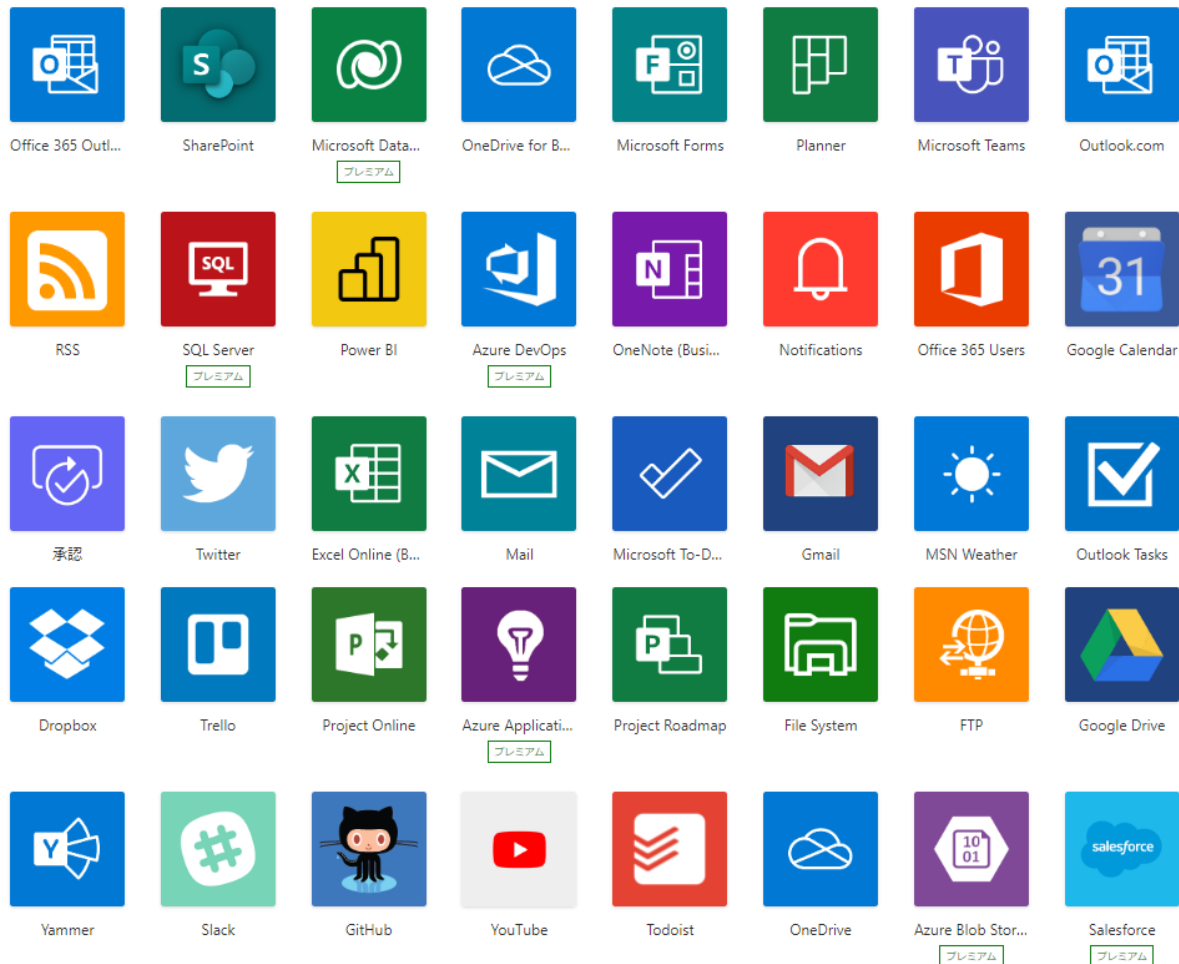


Power  
Automate



# 無償/有償 Power Automate (クラウドフロー)

Power Platformでは、データソースやサービスへの接続にコネクタを使用



- コネクタには、標準コネクタ、プレミアムコネクタ、カスタムコネクタがある
- **無償**で使用できるのは標準コネクタのみ
- **有償**ではプレミアムコネクタ、カスタムコネクタも使用可能



※ライセンスの種類により、  
1日あたりに可能なAPIコール数の上限が異なります



# 有償 Power Automate for desktop

Power Automate for desktop (無償)には含まれない機能を使いたい時

- クラウドフロー(自動フロー、インスタントフロー、予定フロー)
- 無人型デスクトップフロー
- データの接続
- データの保存と管理
- AI

	無人型 完全自動化 	有人型 人がトリガー 
概要	ボリュームが大きく、時間がかかるタスクを、指 1 本動かさずに自動化	デスクトップやウェブ上で手動で行っているタスクの効率化と自動化
シナリオ	会社の大規模プロセスの自動化	オンデマンドのタスクの自動化
対象者	RPA専任の Center of Excellence および自動化のスペシャリスト	ビジネスユニットにおける市民開発者
必須条件	特定のマシンにおけるジョブ/ロボットが業務をこなすこと	ユーザーが各自の端末にサインインしていること/人がトリガーとなること

# 有償版の メリット

Microsoft Dataverse

プレミアム & カスタムコネクタ

オンプレミスデータゲートウェイ

モデル駆動型アプリ

Power Apps Portals

Power Automate for desktop

無償・有償の選び方

# 無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は 3 つ

開発規模



データソース



ガバナンス



# 無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は 3 つ

開発規模



データソース



ガバナンス



# 開発規模で開発手法を選ぶ

## Mode 1. Power Platform

(例：簡易承認ワークフロー、ペーパーレス化)

セキュリティ要件やアクセス制限が緩い簡易的なアプリケーション } 無償版

## Mode 2. Power Platform

(例：RDBを必要とするアプリ、データの活用)

セキュリティ要件やアクセス制限があるアプリケーション  
全社員共通的に利用するアプリケーション

有償版

## Mode 3. Power Platform

+開発, パッケージ利用

(例：SAP連携、Dynamics 365)

プロ開発者が基幹システム等を開発

Mode 3.  
複雑な要件の  
基幹システム

Mode 2. 事業部門/全社でのデジタイゼーションを実現し、生まれたデータをビジネスの意思決定に繋げる

### Mode 1.

個人/チーム内での業務の簡易効率化

0365利用権内でPower Platformを利用



Dynamics 365



Visual Studio



VS Code

業務プロセスの汎用性

費用対効果 規模

# 無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は 3 つ

開発規模



データソース



ガバナンス



# データソースでライセンスを選ぶ



## SharePoint Online リスト

- 初級開発者による構築と保守
- データ件数**5000件**までを推奨
- 標準コネクタを使用したネイティブ接続
- O365 と Power Platform で共有される、少量で単純な非リレーショナルデータモデルに最適
- IT プロフェッショナルとスーパーユーザーによって管理されるシンプルなアクセス許可グループ



## Dataverse for Teams

- 初級開発者による構築と保守
- **2GB or 100万行**まで利用可能（実行はTeams上のみ）
- Microsoft Teams とのネイティブ接続
- Microsoft Teams のみで使用する少量のリレーショナルデータ構造に最適
- Dataverse へのワンクリックアップグレード
- OMG (所有者、メンバー、ゲスト) のアクセス許可



## Microsoft Dataverse

- スーパーユーザーによる構築と保守
- プレミアム コネクタ<sup>1</sup> によるネイティブな接続
- 大量のトランザクションデータ（データ、ファイル、ログ）に最適
- 多言語と多国通貨を既定でサポート
- 高度なロールベース アクセス制御 (RBAC)
- 自動負荷分散、バックアップ、リストア、監査ログ
- カスタマイズ可能な重複データ検出とビジネスルール



## オンプレミス データ

- IT プロフェッショナルによる構築と保守
- オンプレミス データ ゲートウェイ を利用した接続
- レガシなマスター データとシステムへの接続に最適
- Power Apps、Power Automate、Power BI で同じゲートウェイを共有
- 負荷分散用の構成が可能



## Azure 上の SQL

- IT プロフェッショナルによる構築と保守
- プレミアム コネクタを利用した接続
- 異種混在のシステムで共有される大容量のマスター データに最適
- IT プロフェッショナルによってカスタマイズ可能な RBAC (ロールベース アクセス制御)
- IT プロフェッショナルによってカスタマイズ可能なビジネスルールとデータ品質ツール

無償(O365/M365付帯)で可能

有償orD365付帯で可能

有償で可能

※Excelをデータソースとすることは個人利用以外では基本的に非推奨

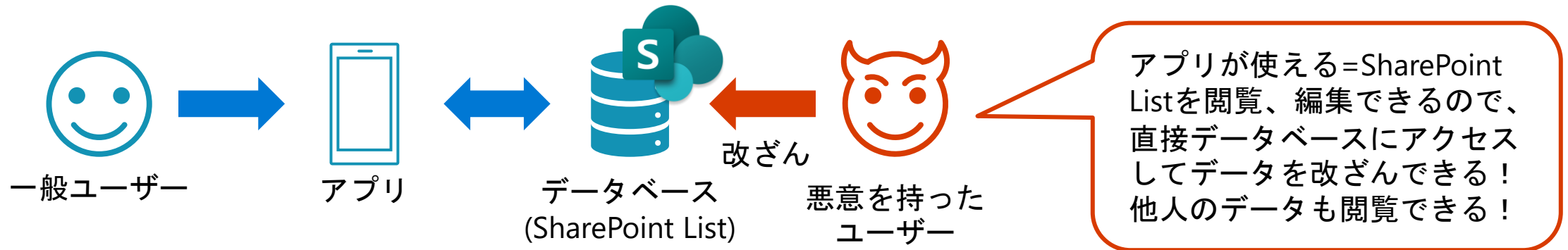


# Dataverseが必要なシナリオ

## データの改ざんを防ぐ必要がある場合

例) 勤怠管理など機密性、正確性が重要なアプリ

SharePoint の場合



Dataverse の場合



# 無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は 3 つ

開発規模



データソース



ガバナンス



# 有償で利用できるガバナンス機能①

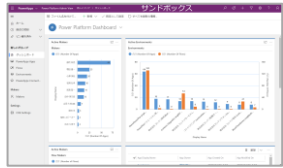
## Center of Excellence (CoE) Starter Kit

- 組織内でのPower Platform 運用・管理・自動化を始められるように、Power PlatformのサンプルテンプレートとしてMicrosoftが作成したものを無償提供
- キットは管理用コネクタやAPIを活用し全てPower Platformのコンポーネントで構成
- キットのシナリオは、実際の大規模顧客内での運用で得られたベストプラクティスに基づき作成



# CoE Starter Kit の構成要素

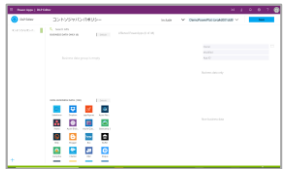
## コアコンポーネント



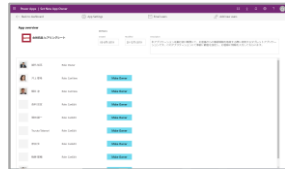
テナント内の  
リソースカタログ



テナント全体利用状況可  
視化



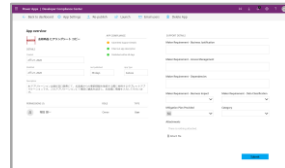
DLPエディタ



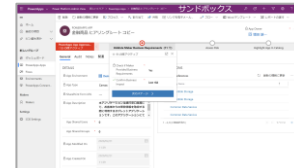
アプリ所有者の変更

テナント内にあるリソースの一元管理や、  
監査ログの可視化、DLPエディタ、  
アプリ所有者の変更などの  
管理者用コンポーネント

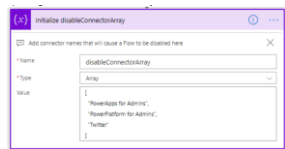
## ガバナンスコンポーネント



アプリ申請



管理者による  
アプリ審査



特定アプリの監査



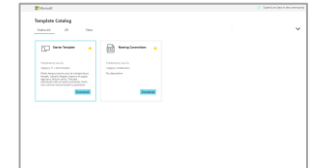
未使用アプリ  
自動アーカイブ

環境やアプリ作成後のガバナンス  
プロセス(アプリの申請、特定コネクタ・  
アプリの使用状況、自動アーカイブなど)を  
支援するためのコンポーネント

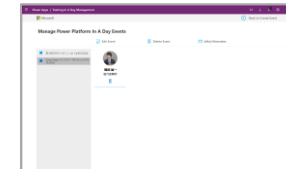
## 育成コンポーネント



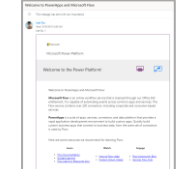
アプリカタログ



テンプレート  
カタログ



社内トレーニング  
イベント管理



Welcomeメール

CoE確立のために不可欠な、アプリ作成  
者や社内コミュニティ育成を支援するた  
めのコンポーネント

### 注意

本キットはPower Platform プロダクトチームが提供しているサンプルソリューションである為、  
キット自体への公式のサポートは受けられません。代わりにGithub上でコミュニティ形式でサポートやバグの報告を行っております。

<https://github.com/microsoft/powerapps-tools/issues>

# 有償で利用できるガバナンス機能②

## Power Automate for desktop の監視機能

Power Automate				
役に立つリソースを検索してください				
最新の情報に更新				
デスクトップ フロー実行				
実行中のデスクトップ フローについて概要を次に示します。 <a href="#">詳細情報</a>				
要求済み ↓	デスクトップ フロー	状況	実行開始日時	
10月21日 15:01 (4 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	10月21日 15:01 (4 か月 前)	
10月20日 12:48 (4 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	10月20日 12:48 (4 か月 前)	
10月15日 13:03 (4 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	10月15日 13:02 (4 か月 前)	
10月4日 13:01 (4 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	10月4日 13:00 (4 か月 前)	
9月9日 10:06 (5 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	9月9日 10:05 (5 か月 前)	
8月3日 16:47 (6 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	8月3日 16:40 (6 か月 前)	
7月16日 15:55 (7 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	7月16日 15:55 (7 か月 前)	
7月16日 15:55 (7 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	7月16日 15:54 (7 か月 前)	
7月16日 15:12 (7 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	7月16日 15:11 (7 か月 前)	
7月16日 15:05 (7 か月 前)	コントリビューター日本語	失敗	7月16日 15:05 (7 か月 前)	
7月12日 14:20 (7 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	7月12日 14:19 (7 か月 前)	
7月8日 10:27 (7 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	7月8日 10:25 (7 か月 前)	
6月30日 09:48 (8 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	6月30日 09:47 (8 か月 前)	
6月30日 08:37 (8 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	6月30日 08:35 (8 か月 前)	
6月29日 16:04 (8 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	6月29日 16:04 (8 か月 前)	
6月29日 15:55 (8 か月 前)	コントリビューター日本語	成功	6月29日 15:54 (8 か月 前)	
6月24日 11:01 (8 か月 前)	コントリビューター日本語	失敗	6月24日 11:01 (8 か月 前)	

## Power Automateの監視機能

[デスクトップフロー実行]で表示される履歴は  
**有償ライセンス保有者のデスクトップフロー実行履歴のみ**

- **無償版**Power Automate for desktop にはクラウド側に実行ログを吐き出す機能がないため、監視対象とならない。
- **無償版**の実行履歴の監視をする機能は提供していない。
- **無償版**ユーザーがどのようなフローを作成したか監視することは可能。

# 無償版・有償版のどちらを使うべきか判断の基準は 3 つ

## 開発規模

… 組織全体で使用する  
アプリ・フローを開発する場合は**有償**



## データソース


… 大量のデータを扱うまたは、  
外部のデータソースを使用する場合は**有償**



## ガバナンス

… CoE Starter Kitを使用するまたは、  
Power Automate for desktopを組織で  
使用する場合は**有償**



The background is a vibrant blue with a bokeh effect of white and light blue sparkles. Several balloons are visible: a large white one in the center, a smaller white one to the right, and a blue one at the bottom left. There are also blue and white triangular bunting flags. Four large, stylized icons are overlaid on the scene: a blue 'X' shape in the top left, a pink diamond shape in the top right, a yellow bar chart in the bottom left, and a teal speech bubble in the bottom right.

適切なライセンスを選択して  
Power Platform を有効活用しましょう！





© 2023 Microsoft Corporation. All rights reserved.

この資料に記載されている情報は、情報の提供のみを目的としており、この資料の発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。市場および他社製品も変化していくため、発行以降の正確性に関して、マイクロソフトはいかなる保証もいたしません。明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。